

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	街灯費				
担 当 課 係 名	環境防災 課		生活環境 係	作成者	新山弘伸
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画の ページ
	基本計画	防犯強化の体制と啓発活動の推進			
	主要施策	防犯施設灯の整備			91
予 算 費 目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	12 目	諸費
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市街灯設置要綱				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	全市民及び市内公共施設・主要道路等の利用者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	交通の安全確保と犯罪予防、青少年の非行防止を図り、併せて明るいまちづくりを目指す。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	主要道路及び公共広場の防犯灯・街灯の修繕及び新設

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	街灯設置箇所 (維持修繕対象箇所＋ 新規設置箇所)	目標	箇所	2,316	2,316	2,316	
			実績	箇所	2,254	2,287	2,294	
			達成度	%	97.3%	98.7%	99.1%	
	成果指標	街灯設置済数	目標	基	2,316	2,316	2,316	
			実績	基	2,254	2,287	2,294	
			達成度	%	97.3%	98.7%	99.1%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				20,482	20,533	21,516	
	人 件 費 (B)		—		785	807	793	
	職 員 数		—		0.10	0.10	0.10	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A)＋(B) 投下コスト				21,267	21,340	22,309	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				21,267	21,340	22,309
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		9,435	9,331	9,725	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		667	679	719	

【事務事業の今までの成果】

市民の要望により、寄贈灯も含む予算の範囲以内において新設する。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	ランニングコストを抑えるLED灯に変更したり、防犯効果の高いといわれている青色灯を採用している自治体もある。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	通勤、通学路等への街灯設置要望は毎年あり、市民の防犯への期待が高まっている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	市民ニーズもあり、継続の必要がある。 現在、設置箇所の確認、台帳整理中である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	防犯上必要な事業であり継続すべきものですが、ランニングコスト削減の視点から改善すべき点がないか検証が必要と考えます。

一次評価診断図

